

# 冬季の 転倒災害防止対策



## 大津労働基準監督署



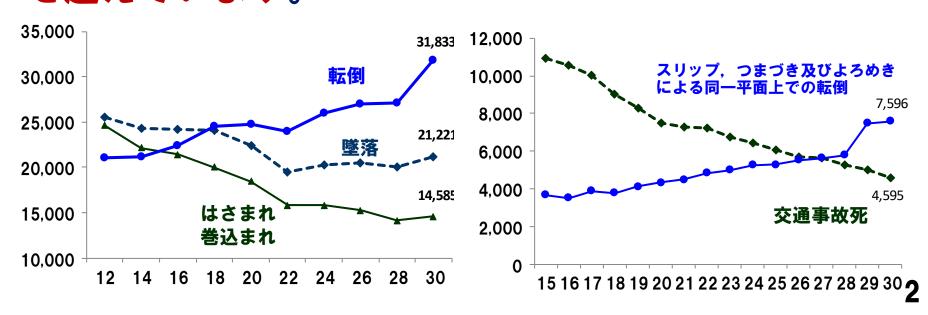
公式YouTube



## 転倒災害を減らしましょう!

仕事中に転倒して4日以上仕事を休む方は、全国で 年間3万人を超えており、労働災害の種類で最も多く なっています。

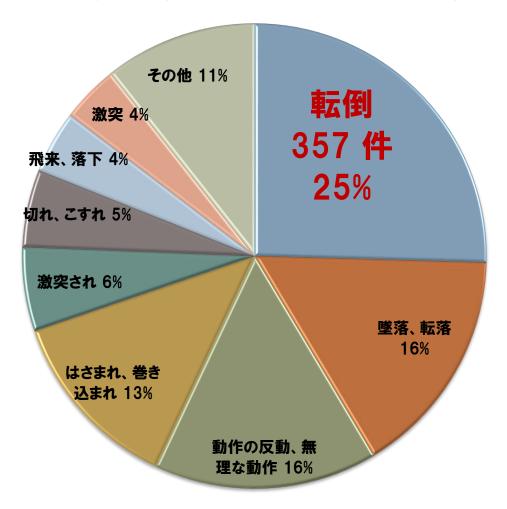
特に高齢者の場合は重症化する割合が高く、日常生活での事故による死因の中でも、転倒は交通事故死を超えています。





#### 労働災害発生状況(H30滋賀県)

#### 死傷災害(休業4日以上 全1403件)

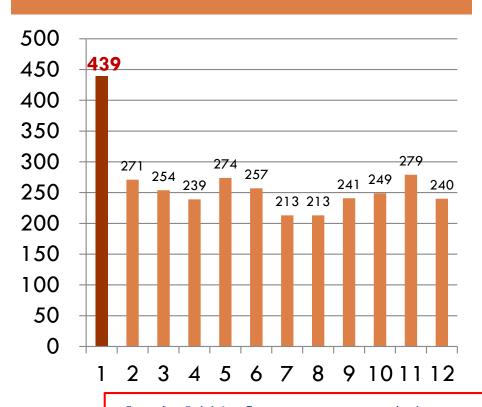


## 滋賀県においても 転倒災害は 事故の型別1位

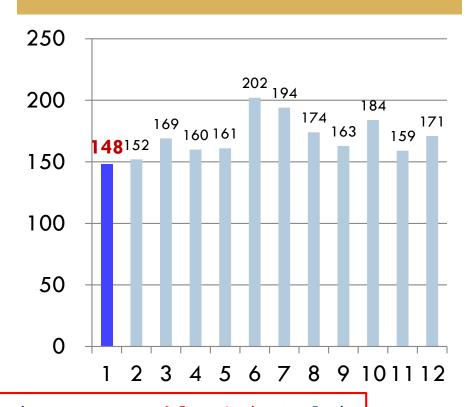


#### 転倒災害、はさまれ・巻き込まれ災害 月別発生状況 (滋賀県 H21~30)

#### 全産業 転倒災害



#### 全産業 はさまれ・巻き込まれ災害



転倒災害は1月が多い。(8月の2倍近く発生)

季節的影響を受けている。⇒ 積雪・凍結など



## 冬季に多発する転倒災害

 冬季の労働災害(休業4日以上)
県内で大雪となった
平成29年1月~2月 冬期2か月間 大津署管内 全災害 104件中
1位 転倒災害 32件(全体の31%\*)

※通年で26%

転倒の原因「路面の凍結」 通勤途中のほか、 駐車場から移動中での発生が多い。



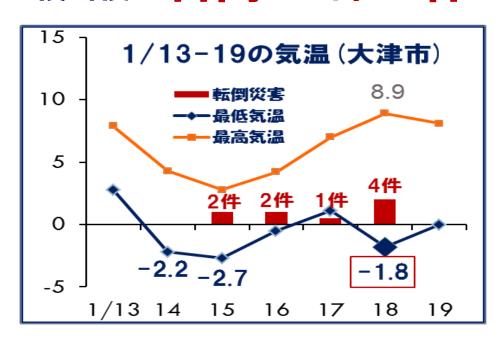
## 積雪・凍結等による転倒災害

(大津労働基準監督署 休業4日以上)



## 平成29年 1/14の積雪 では 積雪後4日間 で 計9件

18日(水) 午前7時40分発生 車で通勤、会社の駐車場から 職場へ向かっていたところ、駐 車場の路面が凍結していて、 滑って後ろ向きに転倒。 骨盤骨折 50代 休業3週間)



積雪後、数日間は、

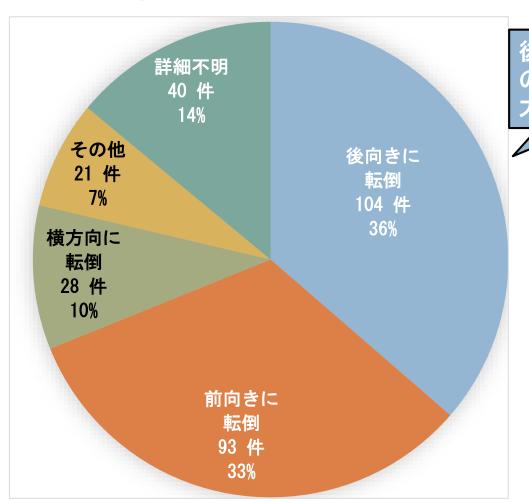
14日(土)から大雪。積雪14cm(観測点) いったん溶け、18日(水)再凍結

凍結に対する備え、注意喚起を行うこと



## 転倒災害の分析

#### どの様に転倒しているのか?



後向き、前向き の転倒災害が 大半を占める。



転倒災害は、

歩行時に発生している。

⇒ 行動災害



#### 転倒の原因別災害状況

#### 転倒災害の主な原因

っすべり 路面の凍結、床面のぬれ等

つまづき床面の段差、凹凸等

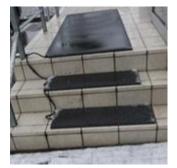
踏みはずし階段等





## 冬季の転倒災害防止対策

- 除雪、融雪の実施駐車場内、事務所までの通路を確保入口の階段等には滑止マットを設置
- 気象予報に注意 降雪が予想される場合は早めの対応を
- 照度の確保
- 安全な履物を選択する 安全靴は耐滑性能の高いものを 通勤時の靴は、柔らかいゴム底の物が好ましい
- 転倒ヒヤリマップの作成
- 雪道では歩幅を小さくする



<ヒートマットの設置例>





## 平戸 凍結路面での転倒災害防止対策

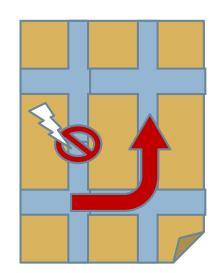
#### 対策

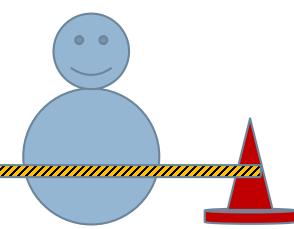
凍結危険箇所の把握

駐車場 通路 作業場所 等

ハザードマップの作成、周知

凍結危険箇所 等の記載







## 雪道の歩き方の基本

- □ 小さな歩幅で歩く
  - 歩幅が大きいと、足を高く上げる必要あり。
    - → 重心移動(体の揺れ)が大きく、転倒リスク大
- □ 靴の裏全体を付けて歩く
  - つるつる路面 → 小さな歩幅で足の裏全体を付けて歩く 「すり足」のような歩き方が有効
- □ 急がず、焦らず、ゆっくり歩く
  - 冬は、夏よりも移動時間がかかることを理解 歩きながら携帯電話、スマートフォンは厳禁
    - → 路面に対する注意力を持ち、凍りそうな道を見分ける



#### 転倒災害について

#### まとめ

- □ 歩行は自ら体を前に傾斜させ不安定な状態をつくり、 それを支えるように足を前に出すメカニズムで、歩行 自体そもそも転倒リスクを含むもの。
- □ バランスを崩して地面に身体を打ちつけるまでの時間は1秒程度と短く、即座に防御姿勢は取れない。
- □ 高齢労働者に転倒災害が多いのは瞬間的に防御姿勢を取り、それを回避する能力が低くなるため。
- □ 一歩一歩見ずに予測の基で歩行するので、僅かな段 差や歩行リズムの狂いが転倒災害を引き起こす。

#### STOP! 転倒災害プロジェクト

~あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて~

厚生労働省と労働災害防止団体では、休業4日以上の死傷災害で最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP!転倒災害プロジェクト」を推進しています。

#### 【主唱者】

厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物 運送事業労働災害防止協会、林業·木材製造業労働災害防止協会、港湾貨 物運送事業労働災害防止協会

#### 【重点取組期間】

プロジェクトの効果を上げるため、

積雪や凍結による 転倒災害の多い 2月 全国安全週間の 準備月間 である 6月

を重点取組期間としています。



#### 転倒災害防止チェックリスト(冬季)

## 事業場の実態に応じたチェックリストを作成し自主点検しましょう。 点検の結果、未実施の場合は早急に対策しましょう

	チェック項目	V
1	安全衛生委員会等において凍結等による転倒災害防止について審議し、対策をとっていますか	
2	気象情報を迅速に把握し、凍結等が予想される場合対応できる連絡体制を構築していますか	
3	冬期の通勤時等において、不意の積雪・路面凍結にも対応できる履き物を着用させていますか	
4	凍結が予想される場所や通路について、「ヒートマット」など滑り止め措置をしていますか	
5	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
6	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	
7	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	
8	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	